

2022年9月16日

横浜ゴム・「YOKOHAMA まごころ基金」が マレーシアの「ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト」を支援

横浜ゴム（株）の従業員による社会貢献基金「YOKOHAMA まごころ基金」は 2022 年 8 月、特定非営利活動法人「ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト」へ活動支援金を寄付しました。横浜ゴムはマッチングギフト[※]として支援金と同額を寄付し、支援合計金額は約 45 万円となります。

※従業員などが社会貢献を目的とした寄付や義援金を拠出した際に、企業がその寄付金に一定額、または同額を上乗せして寄付金を拠出する仕組み

「ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト」はマレーシア・サラワク州にあるボルネオ島北西部の熱帯雨林において過度な開発から森林を守り、緑化を推進するため、サラワク州森林局並びに先住民族の理解と協力を得ながら植林活動を続けています。また、近年は植林事業を安定させ、森林の保全・育成を図るために、先住民族の生活基盤を従来の焼畑農業依存から植林事業への参加報酬や植林樹木からの換金作物（樹脂、果実）、コーヒー生産者組合の構築などへ転換していくための支援を続けています。

横浜ゴムは ESG 経営における環境課題の 3 本柱のひとつに「自然との共生」を掲げており、独自に策定した「持続可能な天然ゴムの調達方針」に基づいたタイ・スラタニの天然ゴム農園でのアグロフォレストリー推進活動や「YOKOHAMA 千年の杜」の植樹活動、生物多様性保全活動に取り組んでいます。「ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト」の活動は「自然との共生」との親和性が高く、当社のマレーシアのタイヤ販売会社 Yokohama Tyre Sales Malaysia Sdn. Bhd.のある地域で活動していることから今回の支援にいたりました。今回の支援金は、2 ヘクタール分の植林に使用されます。

「YOKOHAMA まごころ基金」は、寄付を希望する従業員が会員となり給与から毎月 1 口 100 円を天引きして積み立て、集まった資金を環境保全や人権擁護などに取り組む NPO、NGO などへの資金援助や重大な災害への義援金として拠出することを目的に 2016 年 5 月に設立されました。

横浜ゴムグループは、2021 年度から 2023 年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2023 (YX2023)」(ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーサン)の ESG 経営において「未来への思いやり」をスローガンに掲げており、事業活動を通じた社会課題への貢献を持続的な企業価値向上に繋げていきます。



苗木を手にする先住民

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：岡

TEL : 03-5400-4531 FAX : 03-5400-4570